質　　疑（代表質問）

発言者　　米　田　　優

発　　言　　の　　要　　旨（その１）
１　政治姿勢について
(1) 任期前半の評価
(2) 30年後の本市未来予想図
(3) 30年後の未来に向けて、現在行うべき取組
２　行財政について
(1) 令和６年度一般会計決算の見込み
(2) 市債残高の現状の受け止め
(3) 市債の計画的な運用や金利上昇リスクなどを踏まえた、財政健全化を図る考え
(4) 市営住宅使用料の滞納整理及び民事調停の状況と、入居率の向上につながる取組
３　指定管理者制度の基本認識について
４　本市の活性化について
(1) 観光
①　本市において、宿泊税を導入する考え
②　玉藻公園入園料において、市内在住者と市外在住者にて区別徴収するなどの考え
(2) 屋島山上へのアクセスを容易にする、多様な交通手段の検討を、今後どのように進めていくのか。
５　教育について
(1) 教員の休憩時間や勤務時間の割り振りの現状
(2) 新規採用教員への対応状況
(3) 本市の学校現場で、きちんと３分類の適正化を実施しているのか。
(4) 自習時間の監督業務を、スクールサポートスタッフで代行できないのか。
(5) 学校生活支援員等の報酬を引き上げる考え

発　　言　　の　　要　　旨（その２）
６　市役所経営について
(1) 昇任制度
①　管理職員昇任試験受験者数低迷についての受け止め
②　管理職員昇任試験を受験していない職員を、昇任させた理由
③　管理職員昇任試験及び管理職員昇任制度を見直す考え
(2) 管理職手当の増額
(3) 評価制度
①　給与・賞与に結びついた評価制度を導入する考え
②　360度の評価を取り入れる考え
(4) 業務削減をトップダウンにて行う考え
(5) 現在の職員体制で、行政サービスの質と継続性を維持できると考えているのか。
(6) 現状が続くと、離職やメンタル不調が続発しかねないが、職員の健康管理体制の認識
(7) 技術職の負担軽減に向けて、業務の平準化・応援体制など、どのような対応策が講じられているのか。
(8) 技術職の人材確保に向けて、今後、どのような採用手法や広報活動を強化していくのか。
７　文化芸術の社会的・経済的な価値を文化芸術施策に生かす考えについて
８　包括外部監査結果に優先順位をつけて素早く対応する考えについて
９　公益通報保護条例を新たに制定する考えについて